

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	豊丘村 204161
地域名 (地域内農業集落名)	ケカチ原・柏原団地南 (大柏)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	3 ha
② 田の面積	- ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	- ha
(備考) 数値は単位未満で四捨五入 「0」…表章単位に満たないもの 「-」…皆無	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ケカチ原は伴野中段から西側へ入った所にある細長く開けた緩傾斜の団地であり、自作のほか、村外の農業法人により柿、野菜(ねぎ)が栽培されている。10年後も村外の農業法人により耕作が継続される見込みである。
 ・柏原団地南では、専業農家の担い手によりりんご、柿、なし、ぶどうが栽培されており、一部高齢の方もいるが後継者がおり、10年後も耕作が継続される見込みである。
 ・柿、りんごを栽培している2筆について、各地権者が耕作を放棄しており荒廃している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現在の耕作者(農業法人、村内の専業農家)が引き続き耕作を続けられるような体制をつくる。
 ・耕作放棄地についての対処が必要だが、地権者本人と話ができない状態である。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
おおむね農地中間管理機構への貸付けができているため、今後耕作ができなくなった農地は、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	90	%	将来の目標とする集積率
			90 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
おおむね集約化できているため、今後耕作ができなくなった農地があれば、集約できるように利用調整を行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
所有者から貸付の意向が確認された農地は、担い手となる果樹農家、農業法人、新規就農者に集積する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の集積・集約化をする場合は、農地中間管理機構の活用を図る。
(3)基盤整備事業への取組
計画なし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
当団地では既に村外農業法人が農地を借り入れ柿・ネギを栽培しているが、今後も遊休農地が発生した場合は広域的に耕作者を探すよう努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
JA等に作業を委託。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
⑦柿、りんごを栽培している2筆について各地権者が耕作を放棄したため荒廃し、地権者とも話ができない状態である。きちんと保全管理されるか担い手への集積が図られるよう、タイミングをみて地権者へのアプローチを図っていく。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙		ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		3.07 ha	ha		3.07 ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	みなみ信州農業協同組合	水稻作業一式・柿剪定	水稻・柿
2	きたむら田植組合	水稻作業一式	水稻
3	大池原・柏原営農組合	水稻作業一式	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	到達	〇〇〇〇	野菜	0.07 ha	ha	野菜	0.07 ha	ha	500
2	到達	〇〇〇〇	りんご	0.17 ha	ha	りんご	0.17 ha	ha	558
3	認農	〇〇〇〇	りんご	0.89 ha	ha	りんご	0.89 ha	ha	579
4	到達	〇〇〇〇	柿	0.33 ha	ha	柿	0.33 ha	ha	645
5	認農	〇〇〇〇	柿	0.41 ha	ha	柿	0.41 ha	ha	795
6	認農	〇〇〇〇	柿	0.65 ha	ha	柿	0.65 ha	ha	868
7	認農	〇〇〇〇	野菜	0.55 ha	ha	野菜	0.55 ha	ha	904
8				ha	ha		ha		
計	7経営体		3.07 ha	ha		3.07 ha	ha		